

## クイックスタートガイド



### **NX6000/NX3000/NX1000**

Ultra-Lightweight 6000/3000/1000-Watt Class-D Power Amplifier with SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

### **NX4-6000**

Ultra-Lightweight 6000-Watt 4-Channel Class-D Power Amplifier with SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

### **NX6000D/NX3000D/NX1000D**

Ultra-Lightweight 6000/3000/1000-Watt Class-D Power Amplifier with DSP Control and SmartSense Loudspeaker Impedance Compensation

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER および BUGERA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

**限定保証**

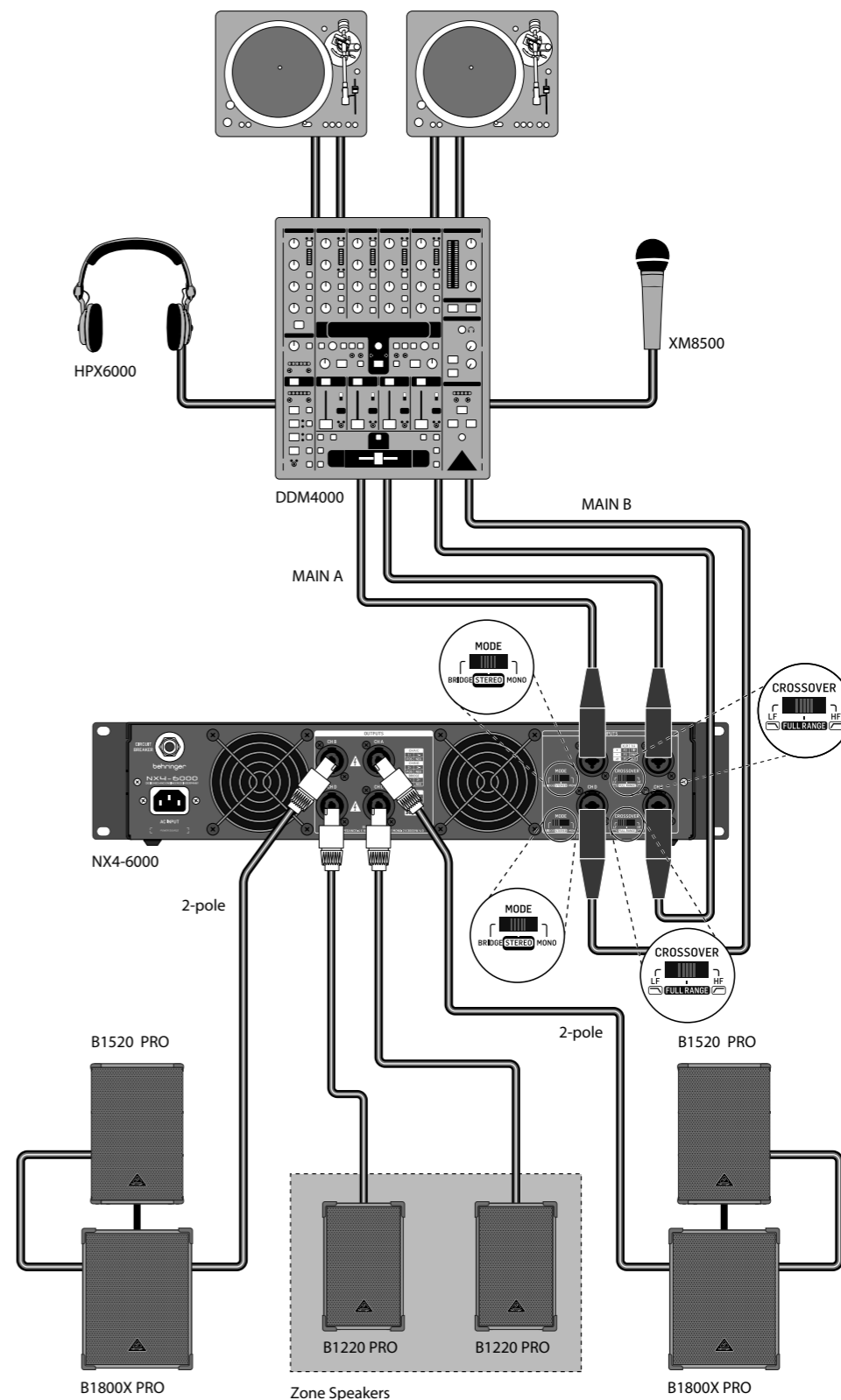
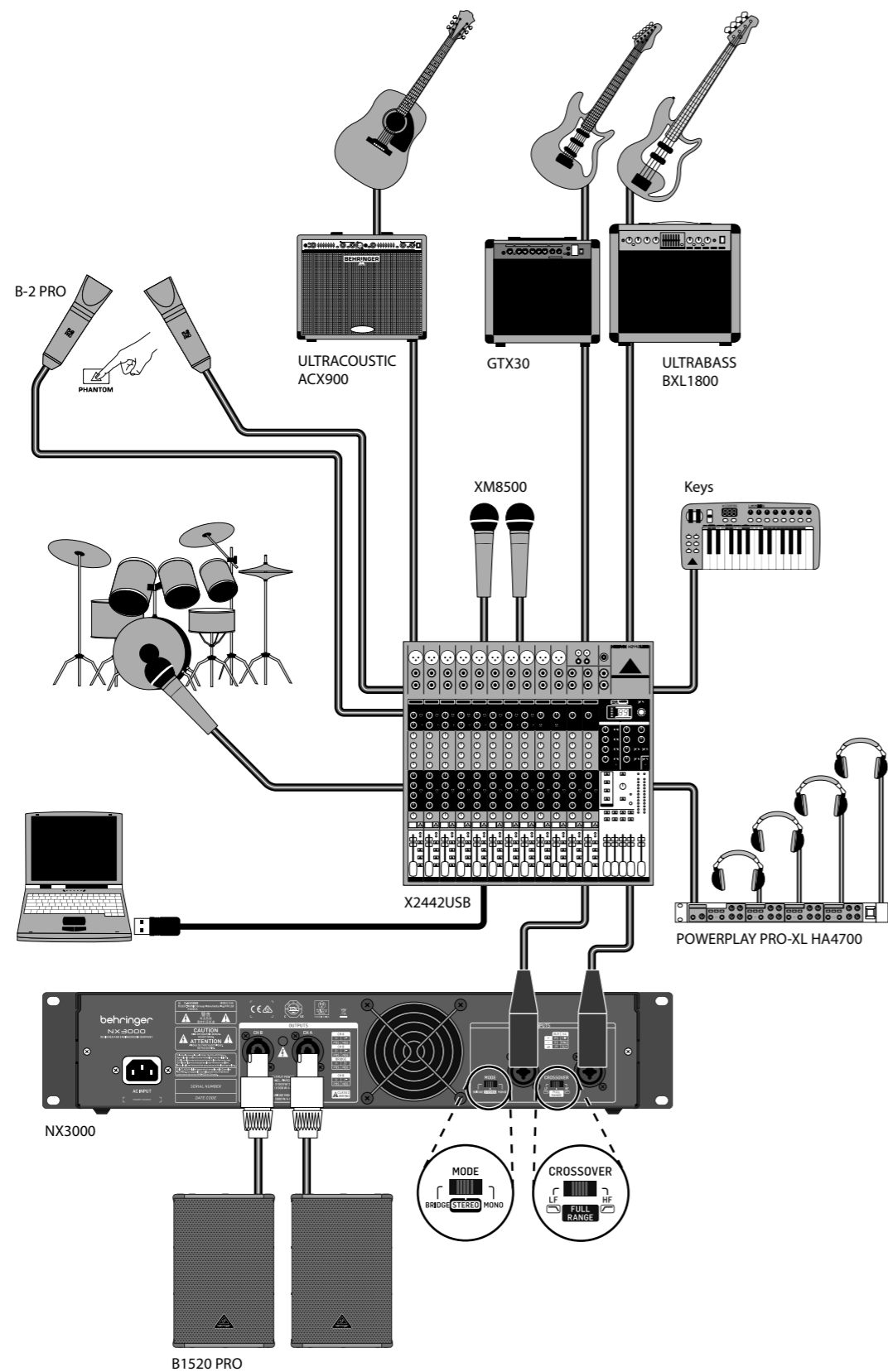
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [music-group.com/warranty](http://music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

# NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000/NX6000D/NX3000D/NX1000D フックアップ

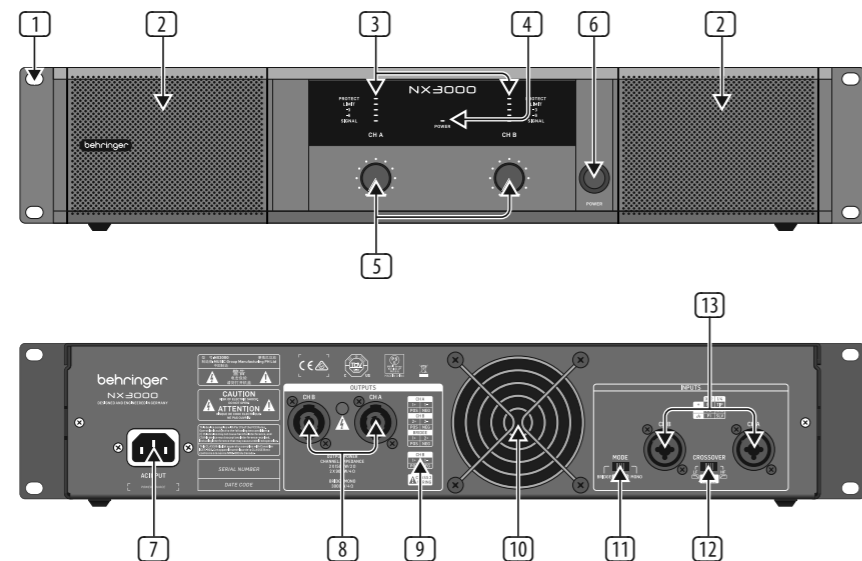
## ステップ 1: フックアップ

フルバンドをコンピューターに録音  
(1台のアンプファイヤー / ステレオモード)

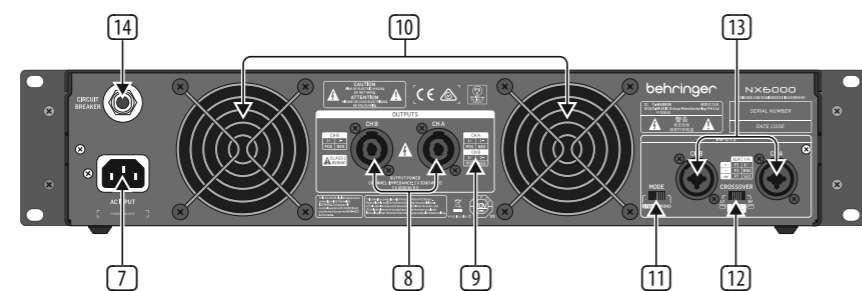
DJでの接続



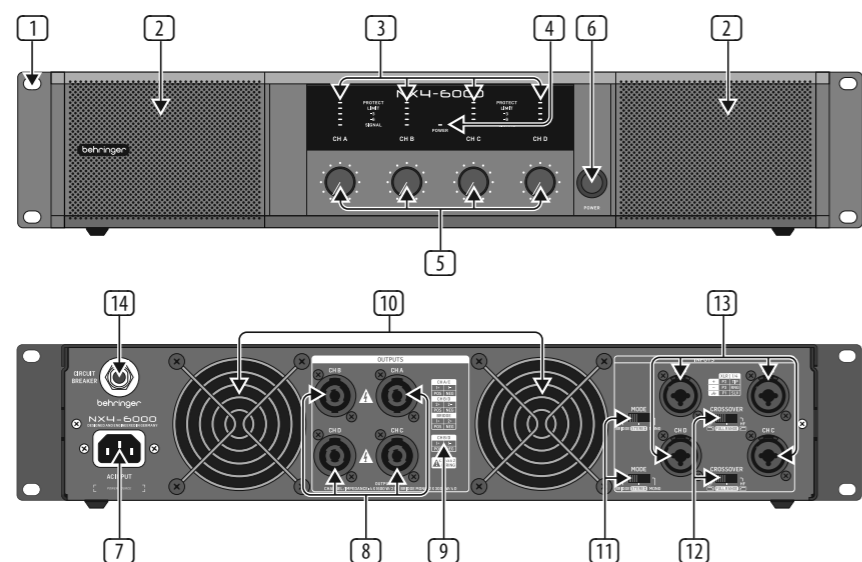
# NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 コントロール



NX3000/NX1000



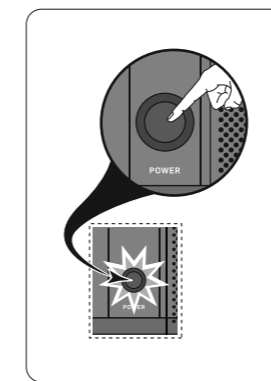
NX6000



NX4-6000

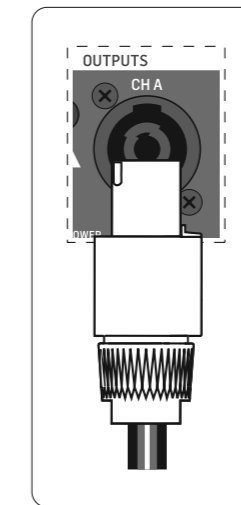
## ステップ 2: コントロール

- ① 4本の付属ネジとワッシャを使って本体をラックに固定します(ドライバーは付属していません)。2ラックスペースを必要とします。
- ② 通気口開口部“背面から前面への”通気設計により、オーバーヒートを防止します。
- ③ **SIGNAL** (信号)、**LIMIT** (リミット) および **PROTECT** (プロテクト) LED 各チャンネルの信号レベルおよびシステムステータスを表示します。信号LEDは、入力信号のレベルを点灯表示します。リミットLEDは、入力信号が最適レベルを超え、内蔵リミッターが動作すると点灯します。赤色のリミットLEDが継続点灯する場合は、入力ゲインを下げてください。プロテクトLEDは、オペレーションエラーの発生を表示します(過電流、過熱など)。オペレーションエラーが発生すると、プロテクトLEDが点灯して、ユニットが自動的にチャンネルをミュートし、その後エラーが検出されなくなると、プロテクトLEDは消灯して、アンプは通常の動作に戻ります。
- ④ **POWER** (電源) LED ユニットの電源がオンの時に点灯します。
- ⑤ **入力コントロール** 入力レベルを調節します。信号のゲインを上げるには、ノブを時計回りに回します; ゲインを下げるには、ノブを反時計回りに回します。
- ⑥ **POWER** (電源) スイッチユニットの電源をオン/オフします。



- ⑦ 電源の接続 対応する電源コード(同梱)を使ってこの IEC 電源コネクタに接続します。

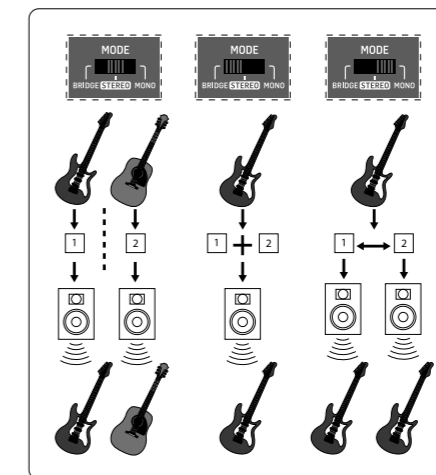
- ⑧ **OUTPUTS** (出力) ツイストロックプラグ付きの業務用スピーカーケーブルを使用して、アンプリファアとスピーカーを接続します。



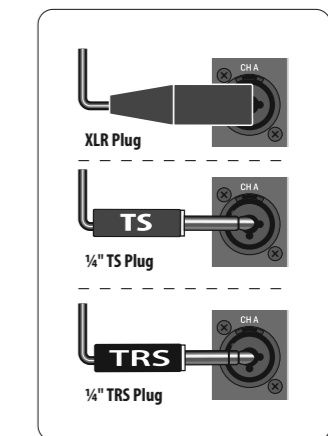
- ⑨ **ピンアウトマトリックス** 各スピーカー出力ジャックの出力ピン/チャンネル構成のリストです。

- ⑩ 通気用ファンファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。

- ⑪ **MODE** スイッチ MODE スイッチを MONO, STEREO と BRIDGE のいずれかの位置に合わせ、アンプリファイアのモードを選択します(NX6000: BRIDGE (ブリッジ) モードはありません)。



- ⑫ **CROSSOVER** (クロスオーバー) スイッチで3つのモード: フルレンジ(FULLRANGE)、LF (低周波クロスオーバー) および HF (高周波クロスオーバー) のいずれかを選択します。LF モードでは信号の低周波のみを増幅します。HF モードでは、高周波のみを増幅します。LF および HF モードは通常バイアンプ方式で使用します。
- ⑬ XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ(バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ(アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンビネーションジャックにルーティングします。

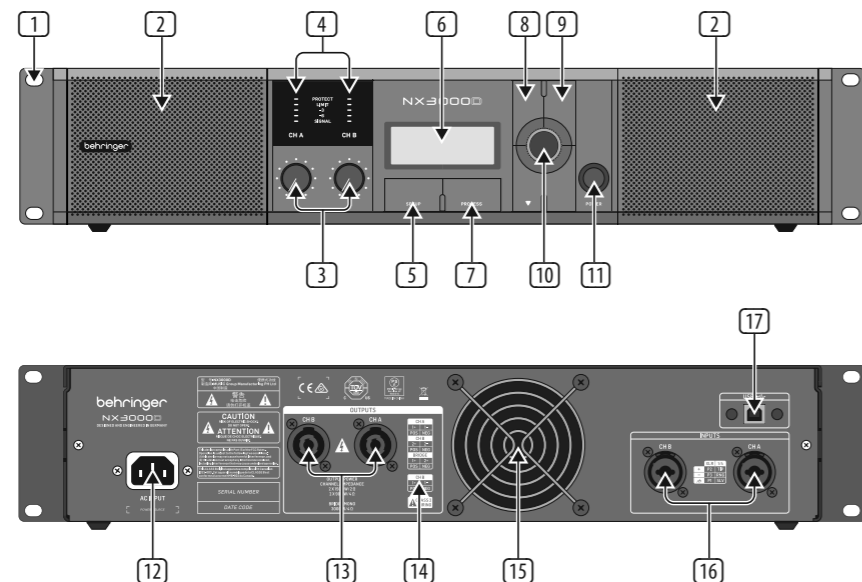


- ⑭ **BREAKER** (オートメーションヒューズは NX6000 および NX4-6000 のみ) 問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び動作させることができます。従来のヒューズの代わりに果たすものです。

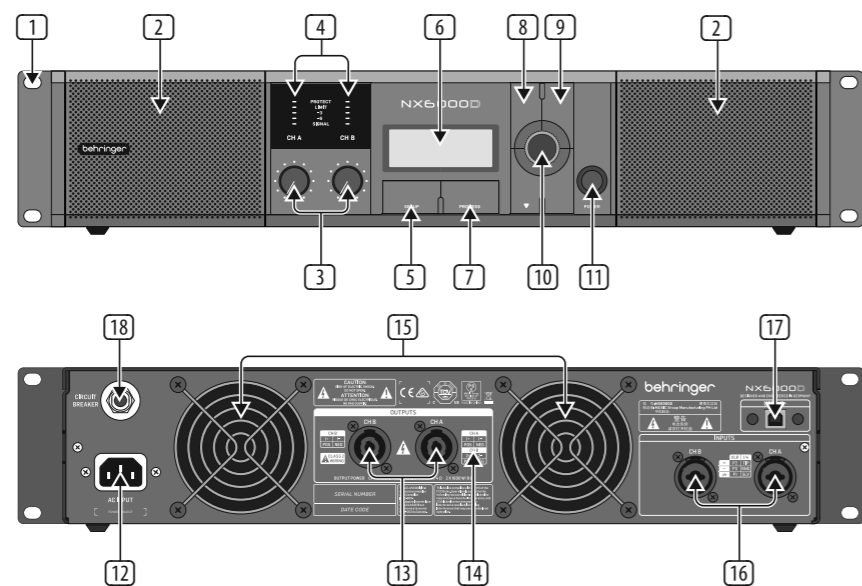
**ブレーカーの注意事項:** もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- AC メインケーブルを抜いてください。
- POWER ボタンを“OFF”にしてください。
- すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆってください。

# NX6000D/NX3000D/NX1000D コントロール



NX3000D/NX1000D

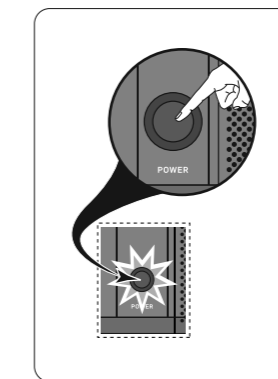


NX6000D

## ステップ 2: コントロール

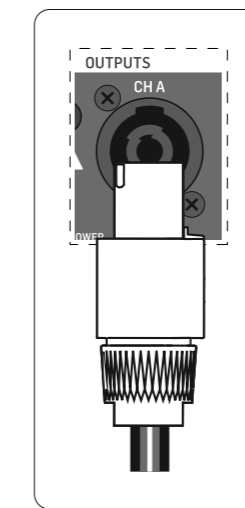
- ① 4本の付属ネジとワッシャを使って本体をラックに固定します(ドライバーは付属していません)。2ラックスペースを必要とします。
- ② 通気口開口部“背面から前面への”通気設計により、オーバーヒートを防止します。
- ③ **入力コントロール** 入力レベルを調節します。信号のゲインを上げるには、ノブを時計回りに回します;ゲインを下げるには、ノブを反時計回りに回します。
- ④ **SIGNAL (信号)**、**LIMIT (リミット)** および **PROTECT (プロテクト)** LED 各チャンネルの信号レベルおよびシステムステータスを表示します。信号 LED は、入力信号のレベルを点灯表示します。リミット LED は、入力信号が最適レベルを超え、内蔵リミッターが作動すると点灯します。赤色のリミット LED が継続点灯する場合は、入力ゲインを下げてください。プロテクト LED は、オペレーションエラーの発生を表示します(過電流、過熱など)。オペレーションエラーが発生すると、プロテクト LED が点灯して、ユニットが自動的にチャンネルをミュートし、その後エラーが検出されなくなると、プロテクト LED は消灯して、アンプは通常の動作に戻ります。
- ⑤ **SETUP** ボタンで DSP プロセッシングモジュールのパラメーターを操作します。
- ⑥ **LCD SCREEN** は現在の DSP モジュールとパラメーター設定を表示します。
- ⑦ **PROCESS** ボタンで DSP プロセッシングモジュールを操作します。
- ⑧ **アップ/ダウン** DSP モジュールをステップスルーします。
- ⑨ **EXIT (イグジット)** ボタン DSP 画面のトップ階層に戻ります。
- ⑩ **SELECT** エンコーダー・ノブでグラフィックとエディット・モードの切り替え(押す) およびパラメーター値を変更(回す) します。

- ⑪ **POWER (電源)** スイッチユニットの電源をオン/オフします。



- ⑫ 電源の接続 対応する電源コード(同梱) を使ってこの IEC 電源コネクタに接続します。

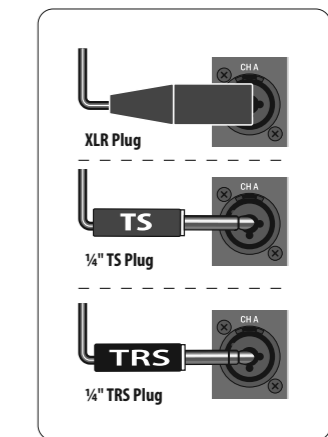
- ⑬ **OUTPUTS (出力)** ツイストロックプラグ付きの業務用スピーカーケーブルを使用して、アンプリファァーとスピーカーを接続します。



- ⑭ **ピンアウトマトリックス** 各スピーカー出力ジャックの出力ピン/チャンネル構成のリストです。

- ⑮ 通気用ファン ファンのスピードは自動的に調節され、トラブルのない動作を約束します。

- ⑯ XLR コネクタ、6.3 mm ステレオコネクタ(バランス)、6.3 mm モノラルコネクタ(アンバランス) を使用して、ラインレベルの入力信号をこれらのコンピネーションジャックにルーティングします。



- ⑰ **USB** 接続でファームウェア・アップデートとコンピューターからのパラメーター・コントロールが可能です。Behringer.com では DSP コントロールソフトウェアのダウンロードができます。
- ⑱ **BREAKER (オートメーションヒューズは NX6000D のみ)** 問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び作動させることができます。従来のヒューズの代わりに果たすものです。

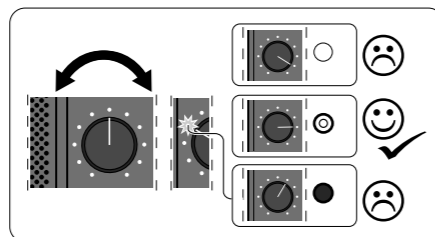
**ブレーカーの注意事項:** もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- AC メインケーブルを抜いてください。
- POWER ボタンを“OFF” にしてください。
- すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆっくください。

## NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 はじめに

### ステップ 3: はじめに

- 1 アンプリファイヤーと音源の電源が OFF になっていることを確認します。
- 2 すべての CHA/CHB コントロールを完全に反時計方向へいっぱいの位置に設定します。
- 3 音源 (ミキサー、CD プレイヤー、コンピューター) の電源を入れます。
- 4 POWER ボタンを押し、アンプリファイヤーの電源を入れます。
- 5 音源の出力レベルを設定します。
- 6 INPUT コントロールを調節し、入力レベルを設定します。  
もし LIMIT LED が頻繁に点灯する場合は、INPUT コントロールを LIMIT LED がまれにしか点灯しなくなるまで下げます。このレベル設定により、信号の強さとアンプのヘッドルームの間で最適なバランスを得ることができます。



## NX6000D/NX3000D/NX1000D はじめに

- 1 POWER ボタンを押してアンプの電源を入れます。LCD ディスプレイにスタートアップ画面が表示されます。



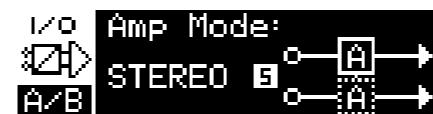
- 2 PROCESS ボタンを押すと、DSP 画面が表示されます。

- 3 各画面で SELECT エンコーダー・ノブを押し、グラフィック・モードとエディット・モードを切り替えます。

- 4 グラフィックモードでは、SELECT エンコーダー・ノブでアクティブなチャンネルとモジュール・ナンバーを選択します (例: DEQ フィルター A#1 または A#2)。

- 5 エディット・モードでは、SELECT エンコーダー・ノブでパラメーターの変更をします。UP/DOWN/EXIT ボタンを押して値とチャンネルを操作します。

- 6 I/O 画面 (アンプ・モード) では以下の信号パスを選択します: BRIDGE、DUAL (デュアル・モノ)、STEREO、BIAMP1 または BIAMP2。



- 7 PEQ 画面では、最大 8 つのパラメトリック・イコライザー・フィルターを使用して音を処理します。



- 8 XOVER 画面では、最大 2 個までのカットオフ周波数クロスオーバー・ポイントを、また各アウトプットには最大 10 個までの異なるフィルターカーブを選択できます。



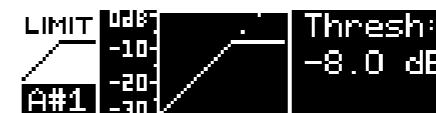
- 9 DEQ スクリーンでは、ダイナミック EQ モジュール (各ステレオチャンネル最大 2 つ) を使用して、信号の指定した周波数レンジをモニターします。特定の周波数レンジをブーストまたはカットするために、レイシオ (Ratio)、アタック (Atime)、リリース (Rtime) パラメーターに基づいて、ダイナミック EQ をプログラムすることもできます (バンドパス、ハイパス、ローパス)。



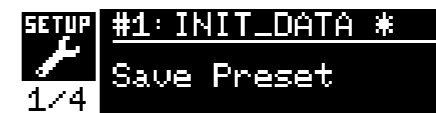
- 10 DELAY 画面では、システムの位相相殺の問題を調整します。特定のチャンネルの位相 (PHASE: 0 または 180)、および / または信号の出力の遅延 (Delay: 0-300 msec) を行うことで、距離にしたがい変化する音 (例: ステージから観客席へ向けた PA スピーカーから出力される音との位相調整) にマッチさせます。



- 11 LIMIT 画面では、内蔵リミッターのスレッシュホールド (Threshold)、リリース (Rtime)、ホールド (Hold) などを設定を行います。



- 12 SETUP ボタンを押すと、プリセットのロード、パネルのロック、パスワード設定、LCD コントラストの調整ができます。



- 13 DSP 画面のトップ階層に戻るには、EXIT ボタンを押してください。

**注意:** DSP では、直近の変更が 2 分間、または EXIT ボタンでメイン画面に戻った時、自動的に保存されます。そうして保存された変更は、次にユニットの電源を入れた時も引き続き有効です。



# NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 Bi-amping

## ステップ 4: Bi-amping

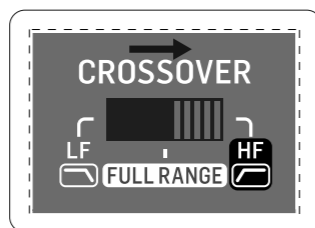
バイアンプ方式では、信号を高周波数帯と低周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別のスピーカー・キャビネットへと割り当てます。サブウーファーは通常低周波数域を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリーンなサウンドを得ることができます。

### 水平バイアンプ方式

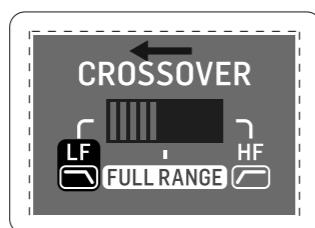
水平バイアンプ方式では、iNUKE アンプ1台で高周波を処理し、別の iNUKE アンプで低周波を扱います。

**注意:** NX4-6000 も基本的に同様ですが、アンプリファイアユニットで全ての接続および設定をおこなえる利点を備えています。

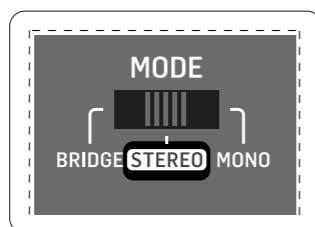
- 1 中/高周波用アンプリファイアのクロスオーバー・スイッチの位置を「HF」にします。



- 2 低周波用アンプリファイアのクロスオーバー・スイッチの位置を「LF」にします。



- 3 モード・スイッチの位置を「STEREO (ステレオ)」にします。



- 4 プロ用ツイストロック・コネクタの 4 極スピーカー・ケーブルを、各アンプの CHA 出力から、コネクタ・ディストリビューション・パネルへ接続します。各アンプリファイアの A および B チャンネルが、1 本のケーブルで一緒にルーティングされます。

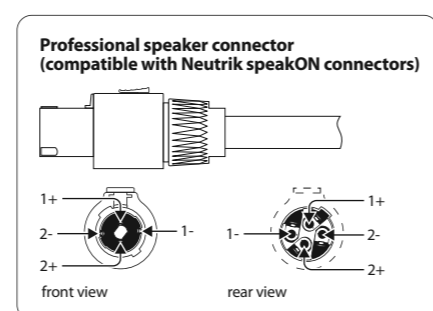
- 5 HF アンプの CHA 出力 (1+/1-) からディストリビューション・パネル左側出力の 1+/1- ピンへ、HF アンプの CHB 出力 (2+/2-) からパネル右側出力の 1+/1- ピンにルーティングされるようディストリビューション・パネルを配線します。

- 6 同様に、LF アンプの CHA 出力 (1+/1-) をパネル左側出力の 2+/2- ピンに、LF アンプの CHB 出力 (2+/2-) を、ディストリビューション・パネル右側出力の 2+/2- ピンにルーティングします。

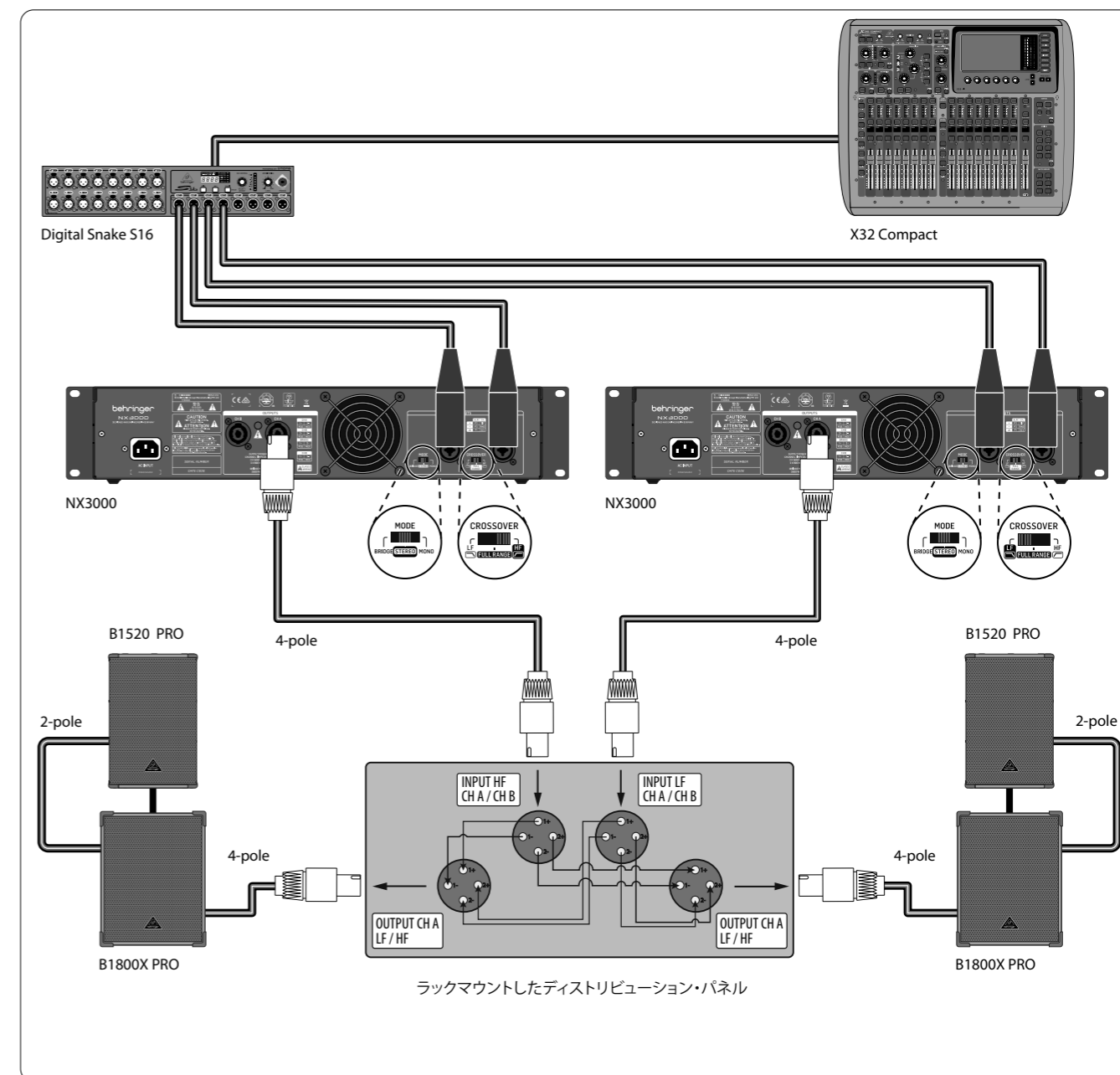
- 7 4 極ケーブルでディストリビューション・ラックの出力端子とサブウーファーを配線します。各 4 極ケーブルの 1+/1- ピンに HF アンプ信号、2+/2- ピンに LF アンプ信号が伝送されます。

- 8 サブウーファーをバイアンプ・モード (BIAMPING) にします。2+/2- ピンの LF アンプ信号がサブウーファーに、1+/1- ピンの HF アンプ信号はサブウーファーを通過して出力ジャックへ伝送されます。

- 9 2 極スピーカー・ケーブルをサブウーファーの出力ジャックから、中/高周波用スピーカーへ接続します。1+/1- ピンの HF アンプ信号で中/高周波用スピーカーが駆動されます。



**注意:** お使いのサブウーファーが 1+/1- ピンのみで動作する場合、ディストリビューション・パネルを使用せず、サブウーファーを直接アンプリファイアに接続できます。この場合、各アンプリファイアのステレオサイドにつき 2 極ケーブルを 2 本ずつ使用します。一方のアンプを中/高周波用スピーカーに、もう一方のアンプをサブウーファーに接続します。



# NX6000/NX3000/NX1000/NX4-6000 Bi-amping

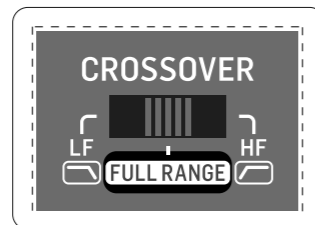
## ステップ 4: Bi-amping

### 垂直バイアンプ方式

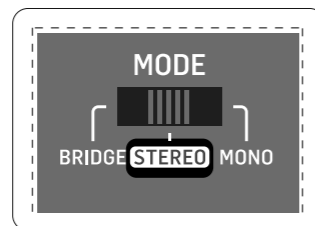
垂直バイアンプ方式は、各ステレオサイドにつきアンプリファイア 1 台を接続します。外部クロスオーバー機器で、オリジナル信号を、低周波信号と中/高域周波信号に分割し、それぞれを別々に増幅します。

**注意:** NX4-6000 も基本的に同様ですが、アンプリファイアユニットで全ての接続および設定をおこなえる利点を備えています。

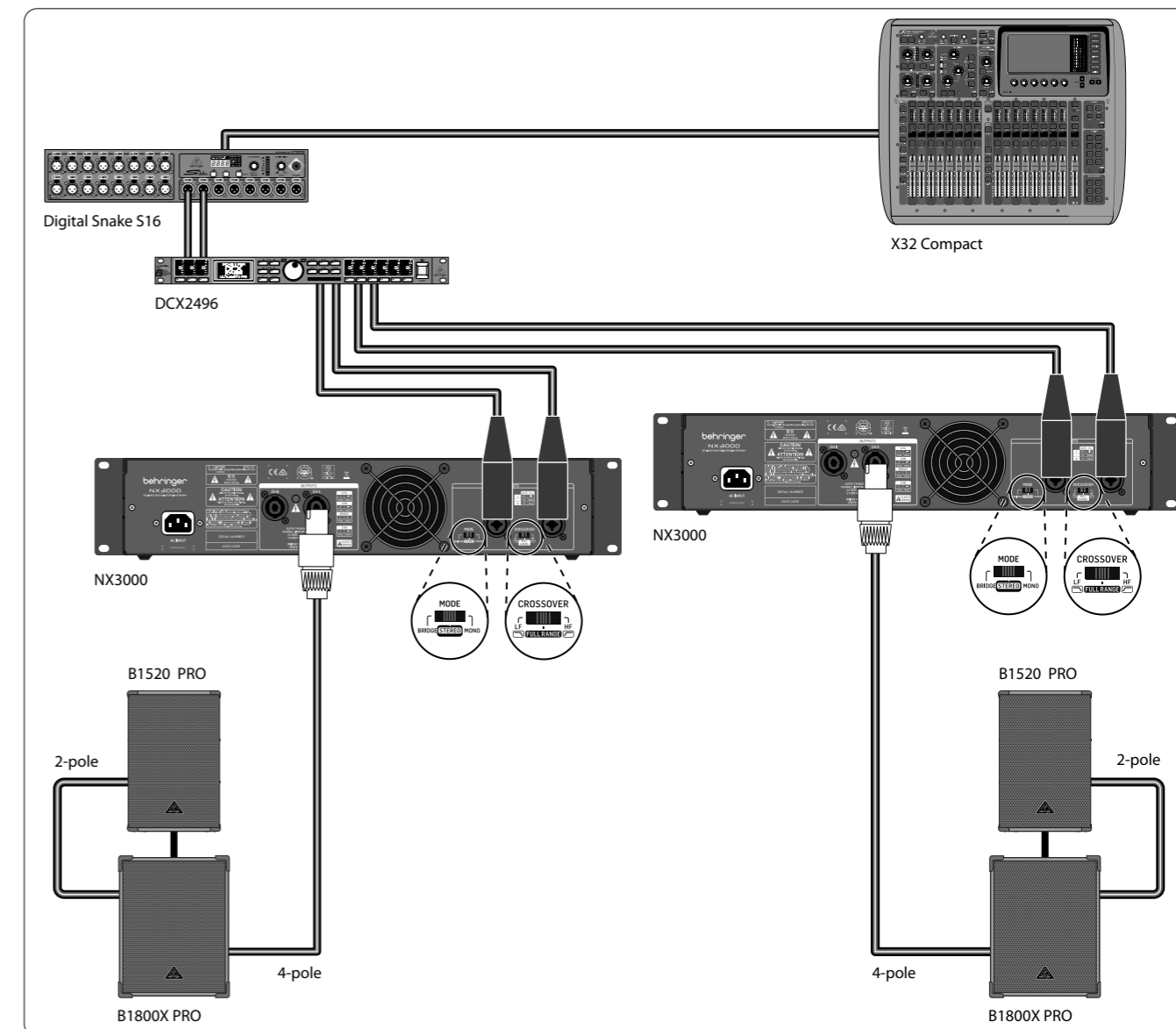
- 1** 外部クロスオーバー機器を、ステレオ信号を 100Hz 近辺で低周波数帯および、中/高周波数帯に分割するように設定します。
- 2** 中/高周波信号をクロスオーバー機器から各アンプの CHA 入力に接続します。
- 3** 低周波信号をクロスオーバーから各アンプの CHB に接続します。
- 4** 左右のアンプリファイアの、クロスオーバー・スイッチの位置を「フルレンジ (FULLRANGE)」にします。



- 5** 両アンプリファイアのモード・スイッチの位置を「ステレオ (STEREO)」にします。



- 6** 各アンプの CHA 出力から、ツイストロク式プロ用 4 極スピーカー・ケーブルを使ってそれぞれ左右のサブウーファーへ接続します。
- 7** サブウーファーを「バイアンプ (BIAMPING)」モードにします。
- 8** サブウーファーから、ツイストロク式プロ用 2 極スピーカー・ケーブルを中/高周波用スピーカーに接続します。

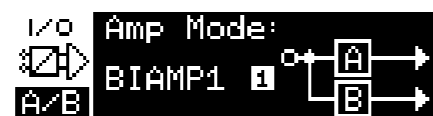




# NX6000D/NX3000D/NX1000D Bi-amping

## ステップ 4: Bi-amping

**1** アンプ・モード画面で BI-AMP1 設定を選択します。



**2** 回転ロック式コネクター付きの4芯のスピーカーケーブルを OUTPUT 1 からサブウーファーに接続します。(サブウーファーは 2+ と 2- の芯から低周波数域の信号を受け取ります。一方、中高域の周波数帯は Channel A の 1+ と 1- の芯を使います)。

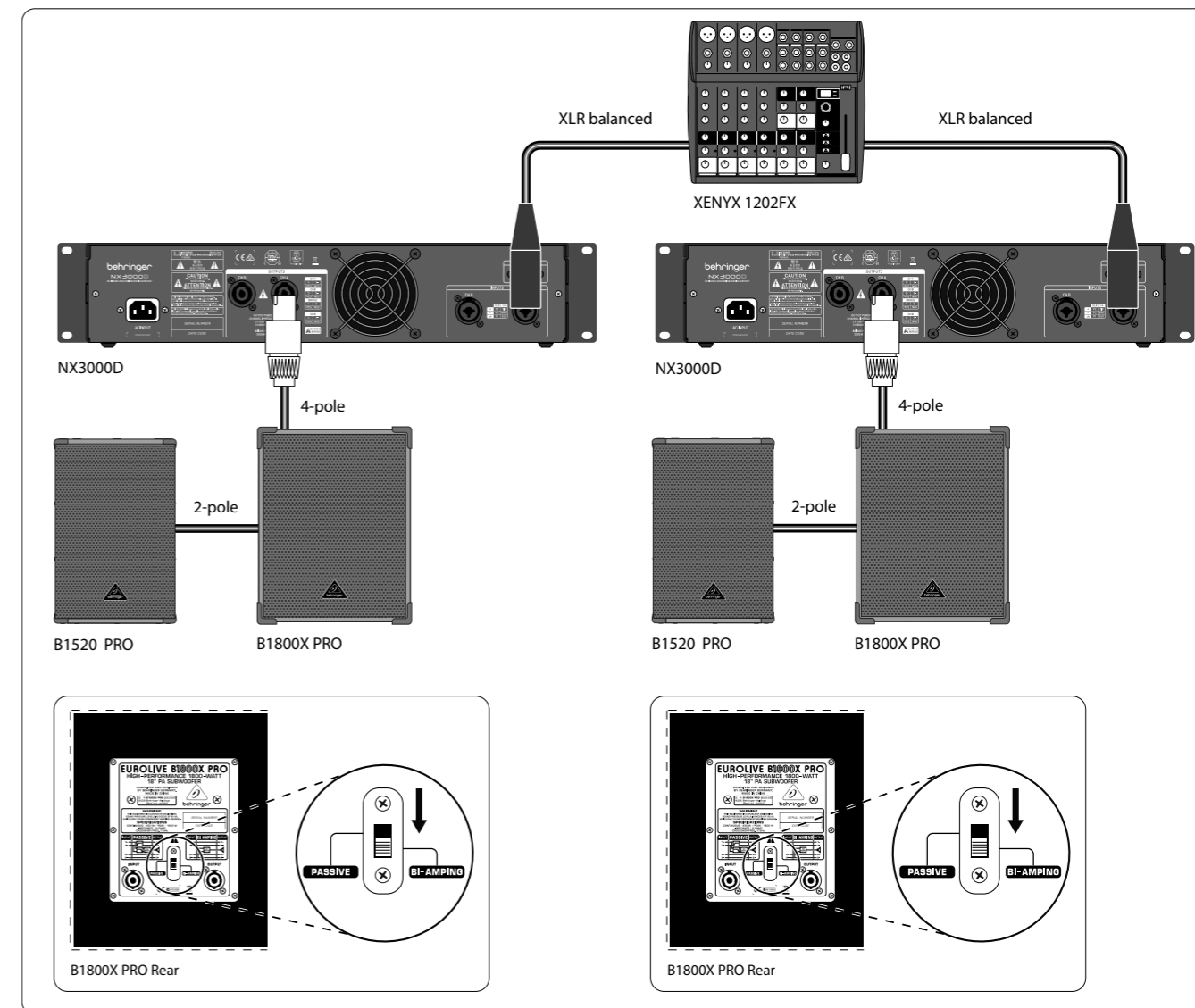
**3** サブウーファーを“パイアンピング”のモードに設定します。

**4** 回転ロック式コネクター付きの2芯のスピーカーケーブルを、サブウーファーから別のスピーカーに接続します。

**5** UP/DOWN ボタンを使用して XOVER 画面に行き、適切な high/low クロスオーバー周波数を設定してください。

**6** チャンネル A#1 の High パスフィルター・タイプ (HPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (HPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの Low パスフィルター (LPtype: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。

**7** チャンネル B#1 の Low パスフィルター・タイプ (LPtype: BUT6、BUT12、BES12 など) を選択し、カットオフ周波数 (LPfreq) をおよそ 100 Hz にセットしてください。そして同チャンネルでの High パスフィルター (HP type: OFF) の使用を停止し、システムに適切なゲインレベル (Gain) を設定してください。



	NX6000D	NX6000	NX4-6000	NX3000D
<b>Maximum Output Power</b>				
Stereo / 4-channel				
2 Ω per channel, stereo	—	—	4 x 1600 W	2 x 1500 W
4 Ω per channel, stereo	2 x 3000 W	—	4 x 860 W	2 x 900 W
8 Ω per channel, stereo	2 x 1600 W	—	4 x 440 W	2 x 440 W
Bridge connection				
4 Ω	—	—	2 x 3000 W	3000 W
8 Ω	—	—	2 x 1600 W	1500 W
<b>Controls</b>				
Front	Power switch, Gain controls (channels A and B), DSP section rotary push-encoder Buttons for Process, Setup, Up/Down, Exit	Power switch Gain controls (channels A and B)	Power switch Gain controls (channels A,B,C and D)	Power switch, Gain controls (channels A and B), DSP section rotary push-encoder Buttons for Process, Setup, Up/Down, Exit
Rear	Circuit breaker	Mode switch (stereo / mono) Crossover switch (LF / fullrange / HF) Circuit breaker	2 x Mode switch (bridge / stereo / mono) 2 x Crossover switch (LF / fullrange / HF) Circuit breaker	—
<b>Indicators</b>				
Power	Amber backlit LCD display	—	Amber LED	Amber backlit LCD display
Limit (per channel)	—	—	0 dB LED	—
Signal (per channel)	—	—	-40 / -6 / -3 dB LEDs	—
Protect (per channel)	—	—	Red LED	—
<b>Input Sensitivity</b>				
For rated power into 4 Ω	—	—	0.775 V (0 dBu)	—
<b>Digital Signal Processing (DSP)</b>				
Display	LCD 128 x 32, amber backlit	—	—	LCD 128 x 32, amber backlit
Digital delay function (per channel)	0 – 300 ms	—	—	0 – 300 ms
Digital crossover function	3 filter types, up to 48 dB/octave	—	—	3 filter types, up to 48 dB/octave
Digital EQ function (per channel)	8-band parametric, 2-band dynamic equalizer	—	—	8-band parametric, 2-band dynamic equalizer
Digital dynamics function (per channel)	Zero attack limiter (peak)	—	—	Zero attack limiter (peak)
Presets	20 total presets, 19 user-definable	—	—	20 total presets, 19 user-definable

	NX6000D	NX6000	NX4-6000	NX3000D
<b>System</b>				
Inputs	2 x combo jacks		4 x combo jacks	2 x combo jacks
Input impedance	10 kΩ unbalanced, 20 kΩ balanced			
Outputs	2 x locking-style professional speaker connectors		4 x locking-style professional speaker connectors	2 x locking-style professional speaker connectors
Output circuit type	Class D			
Distortion	<0.2%	<0.1%	<0.2%	<0.3%
Frequency response	20 Hz to 20 kHz, +0 / -2 dB			20 Hz to 20 kHz, +0 / -1 dB
Damping factor	>140 @ 8 Ω		>145 @ 8 Ω	
Signal-to-noise	>100 dB			
USB	Rear panel USB connector type B for remote control of DSP section	—	—	Rear panel USB connector type B for remote control of DSP section
<b>Circuit Protection</b>				
Cooling	Continuously variable speed fan Back-to-front air flow			
Amplifier protection	Thermal and DC protection Stable into reactive or mismatched loads			
Load protection	On/off muting, DC-fault power supply shutdown			
<b>Power Supply, Voltage, Current Consumption (Breaker / Fuses)</b>				
USA / Canada	120 V~, 60 Hz, (T 25 A H 250 V)		100-120 V~, 50/60 Hz, (T 10 A H 250 V)	
Japan	100 V~, 50/60 Hz, (T 25 A H 250 V)		100-120 V~, 50/60 Hz, (T 10 A H 250 V)	
UK / Australia / Europe	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 12 A H 250 V)		220-240 V~, 50/60 Hz, (T 6.3 A H 250 V)	
Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 12 A H 250 V)		220-240 V~, 50/60 Hz, (T 6.3 A H 250 V)	
Power consumption @ 2 Ω, 1/8 rated power	—		620 W	350 W
Power consumption @ 4 Ω, 1/8 rated power	620 W	620 W	—	—
Mains connector	Standard IEC receptacle			
<b>Dimensions / Weight</b>				
Dimensions (H* x W x D)	94 x 483 x 316 mm (3.7 x 19.0 x 12.4")			94 x 483 x 231 mm (3.7 x 19.0 x 9.1")
Weight	6.0 kg (13.2 lbs)	5.9 kg (13.0 lbs)	6.1 kg (13.4 lbs)	3.6 kg (7.9 lbs)

\* including 5mm rubber feet

	NX3000	NX1000D	NX1000
<b>Maximum Output Power</b>			
Stereo / 4-channel			
2 Ω per channel, stereo	2 x 1500 W	2 x 500 W	
4 Ω per channel, stereo	2 x 900 W	2 x 300 W	
8 Ω per channel, stereo	2 x 440 W	2 x 160 W	
Bridge connection			
4 Ω	3000 W	1000 W	
8 Ω	1500 W	620 W	
<b>Controls</b>			
Front	Power switch Gain controls (channels A and B)	Power switch, Gain controls (channels A and B), DSP section rotary push-encoder Buttons for Process, Setup, Up/Down, Exit	Power switch Gain controls (channels A and B)
Rear	Mode switch(bridge / stereo / mono) Crossover switch (LF / fullrange / HF)	—	Mode switch(bridge / stereo / mono) Crossover switch (LF / fullrange / HF)
<b>Indicators</b>			
Power	Amber LED	Amber backlit LCD display	Amber LED
Limit (per channel)	0 dB LED		
Signal (per channel)	-40 / -6 / -3 dB LEDs		
Protect (per channel)	Red LED		
<b>Input Sensitivity</b>			
For rated power into 4 Ω	0.775 V (0 dBu)		
<b>Digital Signal Processing (DSP)</b>			
Display	—	LCD 128 x 32, amber backlit	—
Digital delay function (per channel)	—	0 – 300 ms	—
Digital crossover function	—	3 filter types, up to 48 dB/octave	—
Digital EQ function (per channel)	—	8-band parametric, 2-band dynamic equalizer	—
Digital dynamics function (per channel)	—	Zero attack limiter (peak)	—
Presets	—	20 total presets, 19 user-definable	—

	NX3000	NX1000D	NX1000
<b>System</b>			
Inputs	2 x combo jacks		
Input impedance	10 kΩ unbalanced, 20 kΩ balanced		
Outputs	2 x locking-style professional speaker connectors		
Output circuit type	Class D		
Distortion	<0.05%	<0.1%	<0.05%
Frequency response	20 Hz to 20 kHz, +0 / -1 dB		
Damping factor	>145 @ 8 Ω	>155 @ 8 Ω	
Signal-to-noise	>100 dB		
USB	—	Rear panel USB connector type B for remote control of DSP section	—
<b>Circuit Protection</b>			
Cooling	Continuously variable speed fan Back-to-front air flow		
Amplifier protection	Thermal and DC protection Stable into reactive or mismatched loads		
Load protection	On/off muting, DC-fault power supply shutdown		
<b>Power Supply, Voltage, Current Consumption (Breaker / Fuses)</b>			
USA / Canada / Japan	100-120 V~, 50/60 Hz, (T 10 A H 250 V)	100-120 V~, 50/60 Hz, (T 6.3 A H 250 V)	
UK / Australia / Europe	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 6.3 A H 250 V)	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 3.15 A H 250 V)	
Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 6.3 A H 250 V)	220-240 V~, 50/60 Hz, (T 3.15 A H 250 V)	
Power consumption @ 2 Ω, 1/8 rated power	350 W	150 W	
Mains connector	Standard IEC receptacle		
<b>Dimensions / Weight</b>			
Dimensions (H* x W x D)	94 x 483 x 231 mm (3.7 x 19.0 x 9.1")		
Weight	3.5 kg (7.7 lbs)	3.4 kg (7.5 lbs)	3.3 kg (7.3 lbs)

\* including 5mm rubber feet

# その他の重要な情報

JP

## JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くになくは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC